

別紙 4 (調査研究費)

調 査 報 告 書

平成29年7月25日

木津川市議会議長 様

会 派 名 さくら会

会派代表者 高岡伸行

議 員 名 高岡伸行、倉 克伊、尾崎輝雄、山本和延
伊藤紀味枝、谷口雄一、森本 隆

調査期日	平成29年7月18日(火)～平成29年7月19日(水)
調査先	<p>1 沖縄県南城市 「ウエルネス事業について」 7月18日(火) 13時15分～16時00分</p> <p>2 沖縄県宜野湾市 窓口業務の民間委託業務について 7月19日(水) 10時00分～11時15分</p> <p>3 月 日() 時 分～ 時 分</p>
参加者氏名	尾崎輝雄、高岡伸行、山本和延、伊藤きみえ、谷口雄一、森本隆、倉克伊
調査項目等	別 紙

平成29年 7月 20日

沖縄県南城市「ウェルネス事業」に関するさくら会研修報告

(訪問日時：平成29年7月18日(火) 13:15~16:00)

木津川市議会 さくら会

森本 隆 (記)

1 研修目的

「ウェルネス事業について」

- ① 事業の予算と体制
- ② ウェルネス事業と観光事業の組み合わせた効果
- ③ 主な取り組み経過と成果

2 出席者

南城市企画部観光商工課	宮城 課長
イーストホームタウン沖縄㈱	相沢 社長
木津川市議会さくら会	尾崎幹事、高岡副幹事 倉議長、 伊藤議員、山本議員、谷口議員、森本隆

3 南城市の概要

人口 43,372人 (木津川市比 約0.6倍)
面積 50k㎡ (木津川市比 約0.6倍)
一般会計予算 253億円 (木津川市比 約0.8倍)
1町3村合併 (平成18年1月)

4 研修内容および質疑

1. 市の事業概要

- ・合併してハートになった地形を活かして、ハートのまちを訴求。
- ・イメージキャラクター「なんじい」を全国公募
3700点 金沢大学学生
ハートのまちをアピールしている。

- ・観光地：世界遺産・斎場御嶽 (ウタキ)：年間43万人集客
パワースポットが多い、久高島、城 (グスク)
ユインチホテル南城 (ウェルネスリゾートホテル)
おきなわワールド (年間 130万人)
年間 200万人以上を集客

- ・イベント：ハーフマラソン (1万人参加)、ガンバ大阪キャンプ誘致 (来年検討中) 他

2. 「ウェルネス」事業の体制について

- ・当初は、市民の健康事業とのコラボを目指していたが、スマホの普及により、古いしくみは将来性がないと方針変更。観光事業とのコラボ中心に推進。
- ・市の観光商工課（観光：4、商工：4、課長：1）、9名体制
- ・観光協会の概要
 - ・体制：人員 30名（正社員、パート含む）
 - ・観光協会の事業内容：
 - 1,9億円（世界遺産収入：1億、指定管理：4千万円、他 6千万、市補助 0,8千万）

3. 南城市ウェルネス事業の経過

- ・南城ツーリズムの推進
 - 旅の中で癒しを感じ、心と身体が健康になる観光を推進。
- ・主な取り組み：
 - ① ヘルスツーリズムの4つの柱
 - 運動、サプリメント、食、温泉
 - ② ヘルスツーリズム品質評価プロジェクトで南城市が候補に
山形県上山市、熊野古道（田辺市）と競合。
 - ③ プラットフォームDMOを推進
 - 受け入れ窓口（観光協会）、コンソーシアム、観光客の受け入れ（予約センター開設）
 - ホームページ制作をつなぐ事務局（ビタミンN）を運営・
- ・事業主体として、イーストホームタウン沖繩株の活動を体験
 - 社員 4名にて運営

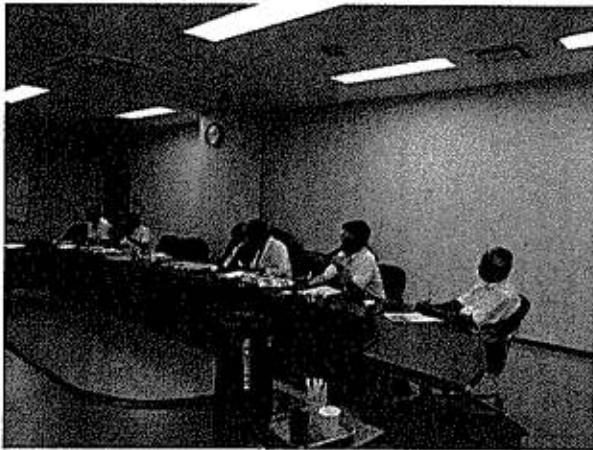
2. 質疑応答

- Q1：ウェルネス事業主体は、予算は。（伊藤）
- ・H22~H25年度、6000万円を投資したが、回収できていない。
 - 次のプロジェクトにつながる人材育成とつながりを構築したのが成果。
 - ・ウェルネスモニター、最大2000名まで登録されたが、スマホ普及で方針転換、
 - ・メンタルヘルスツアーへ
- Q2：平和学習とは何か（高岡）
- ・修学旅行 10万人対象を確保すると経営が安定する（長野県、
¥72000 生活文化体験中心へ
 - ・メンタルの体験、戦争の時代はどうだったか。を学習。
- Q3：人口増加の背景（倉）
- ・地域 1/3の風紀地域を守るかわりに、市街化調整地域に宅地開発をして成功。
- Q4：DMOの課題は。
- ・10数名で、メンタルヘルス事業を立ち上げた。
 - ・BtoB中心に立ち上げ、今後の課題は、BtoC。

5 まとめ

南城市のウェルネス事業をスタートに、観光事業を立ちあげた取り組みを研修して、目的を明確にして、機能（旅行、医療）、組織をきちんと作り、志のあることが大事であるとの内容が非常に参考になった。

また、観光協会の事業内容については、見習うべきものが多く、参考になった。今後、木津川市の観光施策の取り組みにいかしていきたい。



以上

平成29年 7月 20日

沖縄県宜野湾市「窓口業務の民間委託事業」に関するさくら会研修報告（速報）

（訪問日時：平成29年7月19日(水) 10:00～11:15）

木津川市議会 さくら会
森本 隆（記）

1 研修目的

「窓口業務の民間委託事業について」

- ① 事業推進による成果
- ② セキュリティ管理の状況
- ③ 今後の取り組み方向

2 出席者

宜野湾市総務部行政改革推進室	宮城 恵美 室長
宜野湾市市民経済部市民課	津島 美智子 課長
宜野湾市議会事務局	東川上 芳光 局長
木津川市議会さくら会	高岡幹事、倉副幹事、尾崎副議長、 伊藤議員、山本議員、谷口議員、森本隆

3 宜野湾市の概要

人口 98,270人（木津川市比 約1.3倍）
面積 19,8k㎡（木津川市比 約0.2倍）
一般会計予算 430億円（木津川市比 約1.4倍）

4 研修内容および質疑

1. 市民窓口の民間委託導入事業概要

- ・ 3年間の期間を業務委託として、プロポーザル方式にて実施。
（年間：7776万円提案上限額）
効果：①年間380万円の効果、職員7名減
②窓口サービス時間を約2時間延長（昼休み稼働等）
- ・ 業務委託での対応のポイント
 - ・ 繁忙期、繁忙時間は係員を増員して対応（通常7名→20名程度まで増員）
 - ・ 手数料支払いを自動券売機で自動化（現金レス）
- ・ 市民からの反響
 - ・ サービス時間が長くなり、便利
 - ・ 接遇マナー向上で好評

・課題

応募業者が少ないので、今後の事業継続が懸念される。

2. セキュリティ

・基幹系は、職員は静脈認証で対応しているが、民間委託は未対応
今後、改善を図る予定。

3. 今後の取り組み

・H30.1より、コンビニ交付を導入して、IT化を推進。

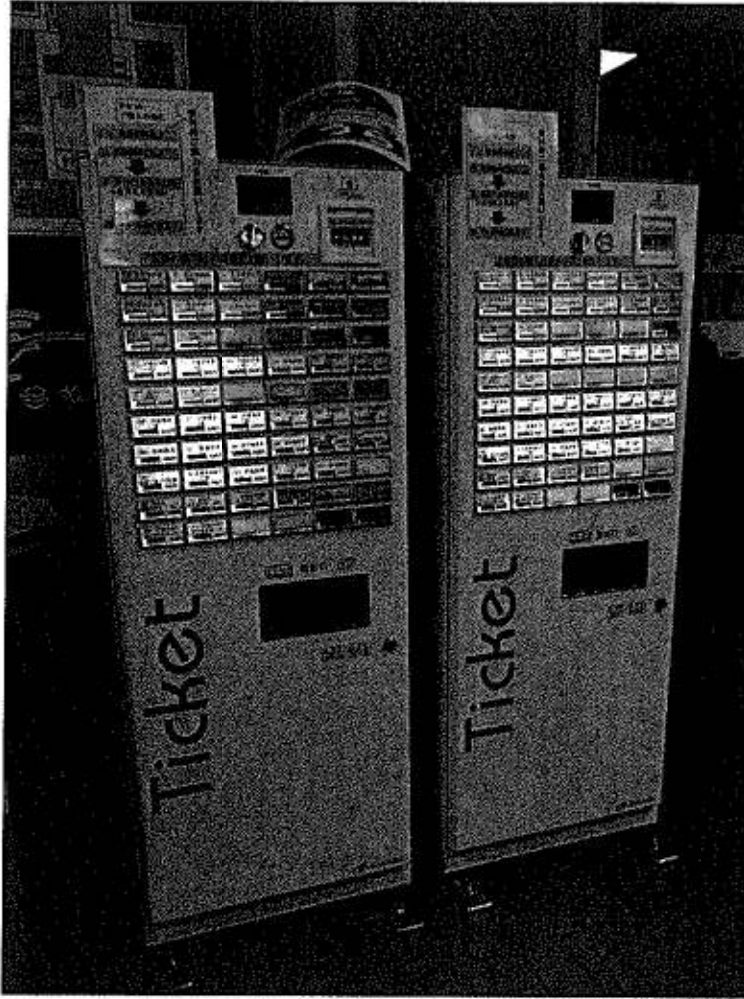
4. 質疑応答

別途

5 5 まとめ

宜野湾市の市民サービス窓口業務委託の事業の立ち上げの背景と、立ち上げ後の課題とメリットについて学ぶことができた。
今後の木津川市の行財政改革の取り組みにいかしていきたい。





以上

調査報告書

平成29年10月6日

木津川市議会議長 様

会派名 さくら会
会派代表者 高岡伸行
議員名 高岡伸行、倉 克伊、尾崎輝雄、山本和延
伊藤紀味枝、谷口雄一、森本 隆

調査期日	平成29年7月18日(火) ~ 平成29年7月19日(水)
調査先	生駒市「家庭ごみの有料化の取り組みについて」 7月18日(火) 13時15分~16時00分
参加者氏名	高岡伸行、倉克伊、谷口雄一、森本隆、山本和延、伊藤きみえ、尾崎輝雄
調査項目等	別 紙

別紙

生駒市「家庭ごみの有料化の取り組み」

平成 29 年 10 月 6 日

<生駒市の概要>

- 人口 120,944 人 (木津川市比 約 1.6 倍)
- 面積 53.15 k m² (木津川市比 約 0.6 倍)



- 一般会計予算 368 億円 (木津川市比 約 1.2 倍)

<取り組み内容>

●生駒市ごみ処理概要

- ・ごみ焼却場 : 市専用焼却場にて焼却
- ・ごみ収集 : 業者委託にて対応、拠点収集方式

●ごみ有料化の目的

- ・環境負荷の少ない循環型社会の形成、埋立地の延命化
ごみ処理費用負担の公平性確保、焼却場建て替え時の規模縮小

●導入スケジュール

- ・平成 24 年 3 月 : ごみ有料化検討委員会より市長へ答申 (ごみ半減トライアル)
- ・平成 25 年 7 月 : ごみ半減トライアルを 1 年半実施 (690 世帯)
- ・平成 26 年 3 月 : 生駒市議会にて条例改正可決
- ・平成 27 年 4 月 : 家庭ごみ有料化導入

●ごみ有料化の内容

- ・燃えるごみ (指定袋 : 1L=1 円、4.5L=4.5 円で販売等 : 木津川市と同じ価格設定)
- ・燃えないごみ (指定袋 : 上記と同じ)
- ・大型ごみ (処理券 (シール) : 1 点 300 円)

●ごみ減量補助実施事業

- ①集団資源回収活動への支援 (1 kg=4 円を補助)
- ②家庭生ごみ自家処理容器等設置への補助
 - ・電気式 (75000 円補助)、キユーロ (バクテリア方式) に 15000 円補助

●家庭ごみ有料化の成果

- ・H26 年 : 21,248 トン、H27 年 : 18,315 トン、H28 年 : 18,214 トン
⇒ごみ袋有料化導入により、 $H28/H26=85.7\%$ と削減された。

<質疑応答>

Q1：ごみ袋有料化導入時に市民周知はどのように取り組んだか。

- ・市長によるタウンミーティングの実施
- ・自治会等への説明会（130回、5000人参加）を実施
- ・広報にリーフレットの折り込等を実施

Q2：不法投棄対策は。

- ・パトロールを週1回から週2回に増やしたが、導入前後で、不法投棄は増加していない。

<まとめ>

ごみ袋有料化を2年前に導入した生駒市を訪問して、取り組み経過、導入時の課題、取り組み成果等の実態をヒアリングすることができた。

今後、木津川市のごみ袋有料化の取り組みにいかしていきたい。

バクテリア方式の生ごみ処理器（キューロ）を市民に推奨

